

学校教育目標	自立貢献 ～自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成～
--------	---

a ミッション	小中連携教育を基盤とした確かな学力の育成	a ビジョン	・向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒を育成する。 ・規範意識を身に付け、自他を大切にできる生徒を育成する。 ・自己を認識し、将来の夢や目標を立て、その達成に向けて計画ができる生徒を育成する。
---------	----------------------	--------	---

尾道市立美木中学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の育成 向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒を育成する。	豊かな関わり合いのある授業を創造し、生徒の思考力・表現力を育成する。	・授業研究を行い、学び合いを充実させる。	1人1回、学び合いのある授業提案を行い、その後の研修で検証を行う。	100%										
		・各教科・各領域において、学習目標達成を見取る手立てとして、学び合いの場を設定し、思考力・表現力を育成する。	学校評価生徒アンケート「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。」に肯定的に回答する生徒の割合	85%										
豊かな心と健やかな体の育成 規範意識を身に付け、自他を大切にできる生徒を育成する。 自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことのできる生徒を育成する。	リーダーの育成と、お互いを認め合える集団づくりを進める。 生徒に三点固定(起きる時間、家庭学習時間、寝る時間)をさせ、基本的な生活習慣を確立する。	・生徒リーダーを中心として学校行事や地域行事への積極的な参加を行う中で、生徒の自己肯定感と自己有用感を高める。	学校評価生徒アンケート「自分には良いところがあると思う。」 「自分の良さを周囲の人に認められていると思う。」に肯定的に回答する生徒の割合の平均	60%										
		・デイリーライフによって生徒の起床時間、家庭学習時間、就寝時間を確認し、担任や学年の教員を中心にサポートを行う。また、課題のある生徒に対しては定期的に生活習慣を振り返らせ、規則正しい生活を送ることへの意識を高める。	学校評価生徒アンケート「起きる時刻と寝る時刻を決めて、毎日それを守って規則正しい生活をしている。」に肯定的に回答する生徒の割合	70%										
		・毎月の学校経営会議で行事の精選や、スクラップ&ビルド、業務分担の見直しや、進度調整等を行う。	学校評価生徒アンケート「学年で定められた家庭学習時間を達成することができている。」に肯定的に回答する生徒の割合	70%										
学校における働き方改革 教職員が、本校に勤務して良かったと思える環境を実現する。	教職員一人一人の業務改善の意識を高め、担当業務の適正化に取り組む。	・毎月の学校経営会議で行事の精選や、スクラップ&ビルド、業務分担の見直しや、進度調整等を行う。	働き方改革アンケート「生徒と向き合う時間が確保されている」に肯定的に回答する教職員の割合（令和6年6月本校80%）	82%										
		・毎月の衛生懇話会で、全教職員の時間外勤務時間を分析し、勤務時間の長い教職員への取組を話し合う。	「時間外勤務時間月45時間以下の教職員の割合」（令和6年6月市中学校平均33%）	50%										

【自己評価 評価】

A: 100≦(目標達成)
 C: 60≦(もう少し) < 80

B: 80≦(ほぼ達成) < 100
 D: <(できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。